

内令第五百六十五號

昭和十八年内令第八百三十三號別表中左ノ通改正ス

昭和十九年四月十九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

舞鶴防備隊ノ項驅潜特務艇ノ欄ニ「第百五十三號（舞）」ヲ加フ

参照 前記内令ハ特務艇ノ所屬ノ件ナリ

内令

七〇一

1505

内令第五百七十一號

右本籍ヲ吳鎮守府ト定メラル

第百六號哨戒艇

右本籍ヲ佐世保鎮守府ト定メラル

第百七號哨戒艇

昭和十九年四月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第五百七十二號

特設監視艇隊編制中左ノ通改定セラル

昭和十九年四月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第四監視艇隊ノ項中「但馬丸、」ヲ「第三大和丸、」ニ改ム

(内令提要卷一、一四二ノ一〇頁参照)

内令

七二三

1506

内 令

七二四

内令第五百七十三號

昭和十八年内令第三百五十六號別表中左ノ通改正ス

昭和十九年四月二十日

海 軍 大 臣 嶋 田 繁 太 郎

第六十五警備隊ノ項特設監視艇ノ欄「第三大和丸(舞)」ヲ「但馬丸(舞)」ニ改ム

参照 前記内令ハ特設特務艇ノ所屬ノ件ナリ

内令第五百七十四號

舞鶴鎮守府所管

特設監視艇 第三大和丸

右横須賀鎮守府所管ト改ム

横須賀鎮守府所管

特設監視艇 但馬丸

右舞鶴鎮守府所管ト改ム

昭和十九年四月二十日

海 軍 大 臣 嶋 田 繁 太 郎

1507

内令第五百七十五號

右本籍ヲ舞鶴鎮守府ト定ム

昭和十九年四月二十日

第百五十七號驅潛特務艇

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

七五

1508

内令第五百七十六號

昭和十八年内令第八百三十三號別表中左ノ通改正ス

昭和十九年四月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

舞鶴防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第五百五十三號（舞）」ノ次ニ「第五百五十七號（舞）」ヲ加フ

参照 前記内令ハ特務艇ノ所屬ノ件ナリ

内令

七二七

1509

内令〔第五百七十五號〕
〔第五百七十六號〕（後送ス）

内令第五百七十七號

特設海軍航路部等ノ所管、所屬、名稱及所在地ノ件申左ノ通改正セラル

昭和十九年四月二十二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

吳鎮守府ノ部中第三南遣艦隊ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

第四南遣艦隊	
第四百四海軍經理部	ア ン ボ ン
第四百四海軍病院	ア ン ボ ン

附則

本令ハ昭和十九年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

（内令提要卷一、三八ノ四〇頁參照）

内令

七一九

1510

内令

七二〇

内令第五百七十八號

昭和十五年内令第六百四十六號特設海軍工作部等ノ所掌區分等ノ件申左ノ通改正ス

本令ハ昭和十九年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十九年四月二十二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第百三海軍病院ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

第百四海軍經理部	一ノ所屬艦隊其ノ他所在地方面各部 ニ關スル事項 二ノ所屬艦隊各部ノ會計事務ノ監督
第百四海軍病院	所屬艦隊其ノ他各部ノ患者ノ診療、 諸般ノ衛生的検査、風土病及傳染病、 ノ防疫ニ各務ニ要スル治療品ノ準備、 保管及供給ニ關スル事項

第百二海軍經理部アンボン支部ノ項ヲ削ル

(内令提要卷二、三八ノ四八頁参照)

1511

内令第五百七十九號

海軍療品廠ノ所屬及所在地並ニ同廠ニ置ク各部左ノ通定メラル

昭和十九年四月二十二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍療品廠		同廠ニ置ク各部
所屬	所在地	
横須賀鎮守府	東京都目黒區 第一海軍療品廠	總務部、第一製造部、第二製造部、研究部、補給部、會計部、醫務部
大阪警備府	大阪市住吉區 第二海軍療品廠	總務部、第一製造部、第二製造部、研究部、補給部、會計部、醫務部
備考	現ニ東京都目黒區ニ在ル海軍療品廠ヲ第一海軍療品廠トス	

内令第五百八十號

特設海軍補充部ノ所屬、名稱及所在地ノ件申左ノ通改正セラル

内令

七二

1512

内令

七三二

昭和十九年四月二十二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀鎮守府ノ部第一海軍補充部ノ項中「トラック」ヲ「サイバン」ニ改ム

(内令提要卷一、三八ノ六〇頁参照)

1513

内令第五百八十一號

右本籍ヲ吳鎮守府ト定メラル

昭和十九年四月二十三日

伊號第三百五十二潜水艦

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

七三

1514

内令第五百八十二號

右吳鎮守府所管ト定メラル

昭和十九年四月二十三日

第百五十一號特設輸送艦

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

七二五

1515

内令〔第五百八十一號〕
〔第五百八十二號〕（後送ス）

内令第五百八十三號

右本籍ヲ佐世保鎮守府ト定メラル

右在役特務艦ト定ム

昭和十九年四月二十四日

特務艦 速 吸

佐世保鎮守府在籍

特務艦 速 吸

海軍大臣 嶋田 繁太郎

内令

七二七

1516

内令第五百八十四號

右練習兼警備艦ト定メラル

昭和十九年四月二十五日

吳鎮守府豫備艦

軍艦 鹿島

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第五百八十五號

右本籍ヲ横須賀鎮守府ト定ム

自魚雷艇 第二十七號隼艇

至魚雷艇 第三十二號隼艇

魚雷艇 第二百十二號隼艇

魚雷艇 第二百十三號隼艇

右本籍ヲ吳鎮守府ト定ム

自第四百九十一號魚雷艇

内令

七二九

1517

内令

七三〇

右本籍ヲ佐世保鎮守府ト定ム

昭和十九年四月二十五日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

至第五百號魚雷艇
自第八百一號魚雷艇
至第八百三十號魚雷艇

内令第五百八十六號

右本籍ヲ横須賀鎮守府ト定ム

右本籍ヲ吳鎮守府ト定ム

昭和十九年四月二十五日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

第五百五十五號驅潛特務艇
第六百六十五號驅潛特務艇

1518

内令第五百八十七號

昭和十八年内令第千八百三十三號別表中ノ通改正ス

昭和十九年四月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀防備隊ノ項驅潜特務艇ノ欄「第百五十一號(横)」ノ次ニ「第百五十五號(横)」ヲ加フ
佐伯防備隊ノ項驅潜特務艇ノ欄「第百五十六號(吳)」ノ次ニ「第百六十五號(吳)」ヲ加フ

参照 前記内令ハ特務艇ノ所屬ノ件ナリ

内令第五百八十八號

左ノ船舶ヲ特設艦船トシ其ノ種別及所管ヲ左ノ通定ム

昭和十九年四月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

船 名	特設艦船種別	所 管
-----	--------	-----

内 令

七三一

1519

内 令

七三二

漁船 旭丸 (船舶番號 三三四九八)	同 第六富正丸	特設監視艇	横須賀鎮守府
同 第二海幸丸	備考 特設艦船タル期間旭丸 (船舶番號 三三四九八)ヲ第二號旭丸ト呼稱ス		

内令第五百八十九號

特設監視艇隊編制中左ノ通改定セラル

昭和十九年四月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第四監視艇隊ノ項中「日向丸」ノ下ニ「第二號旭丸、第六富正丸、第二海幸丸」ヲ加フ

(内令提要卷一、一四二ノ一〇頁参照)

内令第五百九十號

戦時編制實施中艦隊等ノ司令部附タル特務士官以下ノ補充鎮守府ノ件申左ノ通改正ス
昭和十九年四月二十五日
海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀鎮守府ノ部中第二海上護衛隊ノ次ニ

第一護衛船團司令部
第二護衛船團司令部
第三護衛船團司令部
第七護衛船團司令部

ヲ

吳鎮守府ノ部中第三十根據地隊ノ次ニ

第五護衛船團司令部
第六護衛船團司令部

ヲ

佐世保鎮守府ノ部中第一海上護衛隊ノ次ニ

内令

七三三

1521

内令

七三四

第四海上護衛隊

第四護衛船團司令部

沖繩方面根據地隊

ヲ

舞鶴鎮守府ノ部中第八根據地隊ノ次ニ

第八護衛船團司令部

ヲ加フ

内令第五百九十一號

特務艇類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十九年四月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特務艇、魚雷艇第四百六十九號型ノ項中「第四百六十九號」ノ下ニ、「第四百九十三號、第四百九十四號、第四百九十五號、第四百九十六號、第四百九十七號、第四百九十八號、第四百九十九號、第五百號、第八百一號、第八百二號、第八百三號、第八百四號、第八百五號、第八百六號、第八百

1522

七號、第八百八號、第八百九號、第八百十號、第八百十一號、第八百十二號、第八百十三號、第八百十四號、第八百十五號、第八百十六號、第八百十七號、第八百十八號、第八百十九號、第八百二十號、第八百二十一號、第八百二十二號、第八百二十三號、第八百二十四號、第八百二十五號、第八百二十六號、第八百二十七號、第八百二十八號、第八百二十九號、第八百三十號」ヲ、同第四百七十四號型ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第四百九十一號型

第四百九十一號、第四百九十二號

同十號隼型ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

二十七號隼型

第二十七號、第二十八號、第二十九號、第三十號、第三十一號、第三十二號、第二百十二號、第二百十三號

(內令提要卷三、四三頁參照)

內令

七三五

1523

内令第五百九十二號

大東亞戰爭中各科ノ少將、大佐、中佐、少佐又ハ大尉ヲ配スベキ定員ハ各一階上級ノ官等ヲ其ノ定員ト爲スコトヲ得

左ノ内令ハ之ヲ廢止ス

昭和十二年内令第七百八號支那事變中兵科、機關科ノ中佐、少佐若ハ大尉ノ定員ニハ上級者ヲ配員シ得ルノ件

昭和十三年内令第八百九十八號支那事變中大使館附武官ノ中一人ハ中將ヲ以テ充テ得ルノ件

昭和十三年内令第八百九十九號大東亞戰爭中戰艦、航空母艦ノ艦長等ハ一時少將ヲ以テ充テ得ルノ件

昭和十七年内令第六百二十號大東亞戰爭中横須賀海軍港務部長等一階上級ノ官等ヲ各共ノ定員ト爲スコトヲ得ルノ件

昭和十七年内令第六百九十九號大東亞戰爭中鎮守府機關長等ハ少將ヲ以テ充テ得ルノ件

昭和十八年内令第九百三十七號大東亞戰爭中軍令部部員ノ中一人ハ少將ヲ以テ其ノ定員ト爲シ得ルノ件

内令

七三七

1524

内令

七三八

昭和十九年四月二十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

(内令提要卷一、四七〇頁参照)

1525

内令第五百九十三號

潜水隊編制中左ノ通改正セラル

昭和十九年四月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第十五潜水隊ノ項中「伊號第四十三、」ノ下ニ「伊號第四十四、」ヲ加フ
第二十二潜水隊ノ項中「伊號第百八十一、」ノ下ニ「伊號第百八十三、」ヲ加フ

(内令提要卷一、七〇頁参照)

内令

七三九

1526



内令第五百九十四號

右本籍ヲ横須賀鎮守府ト定メラル

第十九號海防艦

右警備海防艦ト定メラル

横須賀鎮守府在籍

第十九號海防艦

昭和十九年四月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第五百九十五號

艦内編制令中左ノ通改正セラル

昭和十九年四月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第三十條第四號中「兵曹」ノ下ニ「又ハ整備兵曹」ヲ加フ

第四十三條ノ三第一項ニ左ノ二號ヲ加フ

内令

七四一

職員

19. 5. 1939



1527

五 電機整備員 飛行機ノ電氣裝置及航空蓄電池ノ整備、検査及準備ニ従事スル者ニシテ其ノ業務ニ應ジ左ノ如ク區別呼稱ス

(イ) 電機整備班下士官 飛行機ノ電氣裝置及航空蓄電池ノ整備、検査及準備ニ従事シ且直接之ガ指導ニ任ズル者ニシテ整備兵曹ヲ以テ之ニ充ツ

(ロ) 電機整備班員 飛行機ノ電氣裝置及航空蓄電池ノ整備、検査及準備ニ従事スル者ヲ謂フ

六 補機整備員 飛行機ノ補機及プロペラノ整備及検査ニ従事スル者ニシテ其ノ業務ニ應ジ左ノ如ク區別呼稱ス

(イ) 補機整備班下士官 飛行機ノ補機及プロペラノ整備及検査ニ従事シ且直接之ガ指導ニ任ズル者ニシテ整備兵曹ヲ以テ之ニ充ツ

(ロ) 補機整備班員 飛行機ノ補機及プロペラノ整備及検査ニ従事スル者ヲ謂フ
附 則

本令ハ昭和十九年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

(内令提要卷一、七七頁参照)

内令第五百九十六號

海軍航空隊編制令中左ノ通改正セラル

昭和十九年四月二十八日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

第十二條第二號中「兼務スルモノトス」ヲ「兼務スルコトヲ得」ニ、同條第三號中(ハ)ヲ左ノ如ク改

(ハ) 射撃員 機上ニ於ケル射撃及射撃兵器ノ準備ヲ分擔スルト共ニ飛行機機體及發動機ノ機上取

扱及之ガ準備ニ従事スル者ニシテ飛行兵員ヲ以テ之ニ充ツ

第十二條ノ三ニ左ノ二號ヲ加フ

五 電機整備員 飛行機ノ電氣裝置及航空用蓄電池ノ整備、検査及準備ニ従事スル者ニシテ其ノ

業務ニ應ジ左ノ如ク區別呼稱ス

(イ) 電機班下士官 飛行機ノ電氣裝置及航空用蓄電池ノ整備、検査及準備ニ従事シ且直接之ガ

指導ニ任ズル者ニシテ整備兵曹ヲ以テ之ニ充ツ

(ロ) 電機班員 飛行機ノ電氣裝置及航空用蓄電池ノ整備、検査及準備ニ従事スル者ニシテ整備

内 令

七四三

1529

員ヲ以テ之ニ充ツ

六 補機整備員 飛行機ノ補機及プロペラノ整備、検査及準備ニ従事スル者ニシテ其ノ業務ニ應

ジ左ノ如ク區別呼稱ス

(イ) 補機班下士官 飛行機ノ補機及プロペラノ整備、検査及準備ニ従事シ且直接之ガ指導ニ任

ズル者ニシテ整備兵曹ヲ以テ之ニ充ツ

(ロ) 補機班員 飛行機ノ補機及プロペラノ整備、検査及準備ニ従事スル者ニシテ整備員ヲ以テ之ニ充ツ

第十三條第四號中「兵曹」ノ下ニ「又ハ整備兵曹」ヲ、「水兵員」ノ下ニ「又ハ整備員」ヲ加フ
第二十條第三號中「水兵員、整備員及」ヲ削ル

附 則

本令ハ昭和十九年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

(内令提要卷一、一二九頁参照)



内令第五百九十七號

艦艇類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十九年四月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

潜水艦、一等伊十型ノ項中「伊號第十一」ヲ、同伊十七型ノ項中「伊號第十九、伊號第二十一」
伊號第三十五」ヲ、伊號第三十九、伊號第四十」ヲ、伊號第四十二、伊號第四十三」ヲ、同伊百六十
八型ノ項中「伊號第百七十二」ヲ、同伊百七十六型ノ項中「伊號百八十一」ヲ、同二號呂三十
五型ノ項中「呂號第三十七、呂號第三十八、呂號第三十九、呂號第四十」ヲ、同呂百型ノ項中
「呂號第百十」ヲ削ル

掃海艇、第十九號型ノ項中「第二十六號」ヲ削ル

驅潛艇、第十四號型ノ項中「第二十四號」ヲ、第三十九號」ヲ削ル

敷設艇ノ部中「夏島」ヲ、那沙美」ヲ削ル

(内令提要卷三、三三頁參照)

内令

七四五

1531

内令

七四六

内令第五百九十八號

特務艦類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十九年四月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

運送艦、隱戸型ノ項中「、鳴戸」ヲ削ル

(内令提要卷三、四一頁参照)

内令第五百九十九號

特務艇類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十九年四月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特務艇、驅潛特務艇第一號型ノ項中「、第十號」「、第十三號」「、第十六號、第十七號」「、第二十九號、第三十號」「、第三十四號」「、第四十號」「、第四十八號」ヲ、同魚雷艇ノ部中「、第一百十二號、第一百十三號」「、第一百十五號」ヲ削ル

1532

(内令提要卷三、四四頁参照)

内令第六百號

潜水隊編制中左ノ通改定セラル

昭和十九年四月三十日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

第二潜水隊ノ項ヲ削ル

第十二潜水隊ノ項中「伊號第七十一、」ヲ削ル

第十五潜水隊ノ項中「伊號第三十五、」及「伊號第四十二、伊號第四十三、」ヲ削ル

第二十二潜水隊ノ項中「伊號第八十一、」ヲ削ル

第三十四潜水隊ノ項中「呂號第三十七、呂號第三十八、呂號第三十九、呂號第四十、」ヲ削ル

第五十一潜水隊ノ項中「呂號第一百、」ヲ削ル

(内令提要卷一、七〇頁参照)

内令

七四七

1533

内令

七四八

内令第六百一號

驅潜隊編制中左ノ通改定セラル

昭和十九年四月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二十三驅潜隊ノ項ヲ削ル

第二十四驅潜隊ノ項ヲ削ル

(内令提要卷一、一四二ノ六頁参照)

内令第六百二號

横須賀鎮守府在籍

伊號第十九潜水艦

伊號第二十一潜水艦

伊號第三十九潜水艦

伊號第四十潜水艦

1534

内
令

吳鎮守府在籍

伊號第四十二潜水艦

伊號第四十三潜水艦

伊號第十一潜水艦

伊號第三十五潜水艦

伊號第一百七十一潜水艦

佐世保鎮守府在籍

伊號第一百八十一潜水艦

呂號第一百十潜水艦

舞鶴鎮守府在籍

呂號第三十七潜水艦

呂號第三十八潜水艦

呂號第三十九潜水艦

呂號第四十潜水艦

七四九

1535

内令

七五〇

右帝國潜水艦籍ヨリ除カル

右帝國掃海艇籍ヨリ除カル

右帝國驅潜艇籍ヨリ除カル

右帝國敷設艇籍ヨリ除カル

横須賀鎮守府在籍

第二十六號掃海艇

佐世保鎮守府在籍

第二十四號驅潜艇

第三十九號驅潜艇

吳鎮守府在籍

敷設艇 那沙美

敷設艇 夏島

舞鶴鎮守府在籍

特務艦 鳴戸

1536

右帝國特務艦籍ヨリ除カル

昭和十九年四月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第六百三號

昭和十八年内令第八百三十三號別表中左ノ通改正ス

昭和十九年四月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

南東方面艦隊ノ項驅潜特務艇ノ欄「第十號(阪)」及「第二十九號(大)、第三十號(大)」ヲ削ル

第一根據地隊ノ項驅潜特務艇ノ欄「第十三號(佐)」ヲ、魚雷艇ノ欄「第一百十二號(横)、第一百十三

號(横)、第一百十五號(佐)」ヲ削ル

第八十一警備隊ノ項驅潜特務艇ノ欄「第三十四號(吳)」及「第四十號(吳)、第四十八號(吳)」ヲ削ル

第八十三警備隊ノ項驅潜特務艇ノ欄「第十六號(吳)、第十七號(吳)」ヲ削ル

參照 前記内令ハ特務艇ノ所屬ノ件ナリ

内令

七五一

1537

内令

七五二

内令第六百四號

右本籍ヲ吳鎮守府ト定メタル處之ヲ解ク

第十六號驅潛特務艇
第十七號驅潛特務艇
第三十四號驅潛特務艇
第四十號驅潛特務艇
第四十八號驅潛特務艇

右本籍ヲ佐世保鎮守府ト定メタル處之ヲ解ク

第十三號驅潛特務艇

右本籍ヲ大湊警備府ト定メタル處之ヲ解ク

第二十九號驅潛特務艇
第三十號驅潛特務艇

右本籍ヲ大阪警備府ト定メタル處之ヲ解ク

第十號驅潛特務艇

1538

右本籍ヲ横須賀鎮守府ト定メタル處之ヲ解ク

第百十二號魚雷艇

第百十三號魚雷艇

第百十五號魚雷艇

右本籍ヲ佐世保鎮守府ト定メタル處之ヲ解ク

昭和十九年四月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第六百五號

昭和十八年内令第二千五百六十六號別表中左ノ通改正ス

昭和十九年四月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

南東方面艦隊ノ項特設捕獲網艇ノ欄「たつ丸(横)、臨つ丸(横)、檜丸(横)」ヲ削ル

参照、前記内令ハ特設特務艇ノ所屬ノ件ナリ

内令

七五三

1539

内令第六百六號

右特設捕獲網艇トシ横須賀鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク

✓ 汽船
たつ丸
同
同
同
樫丸

右特設運送船（給糧船）トシ佐世保鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク

✓ 同
第三高速丸

右特設運送船（給炭油船）トシ吳鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク

同
三江丸

右特設運送船（雜用船）トシ佐世保鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク

✓ 同
隆興丸

右特設運送船（雜用船）トシ舞鶴鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク

✓ 同
第十八眞盛丸

昭和十九年四月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎



内令第六百七號

右吳鎮守府所管ト定メラル

昭和十九年四月三十日

第百三號特設輸送艦

海軍大臣 島田 繁太郎

内令

七五五

1541